

黒石市

中心市街地活性化基本計画

概要版



—かぐじ広場—



—黒石よされ—



—黒石ねぶた祭り—



—こみせ—

平成31年4月
青森県 黒石市

(平成31年3月18日認定)

(令和4年3月8日第2回変更)

黒石市中心市街地活性化基本計画の概要

■ 計画策定の目的

人口減少・少子高齢化社会に対応するため、中心市街地に多様な都市機能を集約させることにより、経済的・文化的な活動が活発に行われ、快適な生活空間を創出することを目指し、

「誰もが輝き、「真の豊かさ、あずましさ」を実感できる街 - 黒石ならではの魅力を磨くまちづくり - 」

をまちづくりコンセプトに、中心市街地の特色と魅力を高め、活性化を総合的かつ一体的に推進するために、中心市街地活性化基本計画を策定しました。

■ 計画期間と計画区域

■ 計画期間：

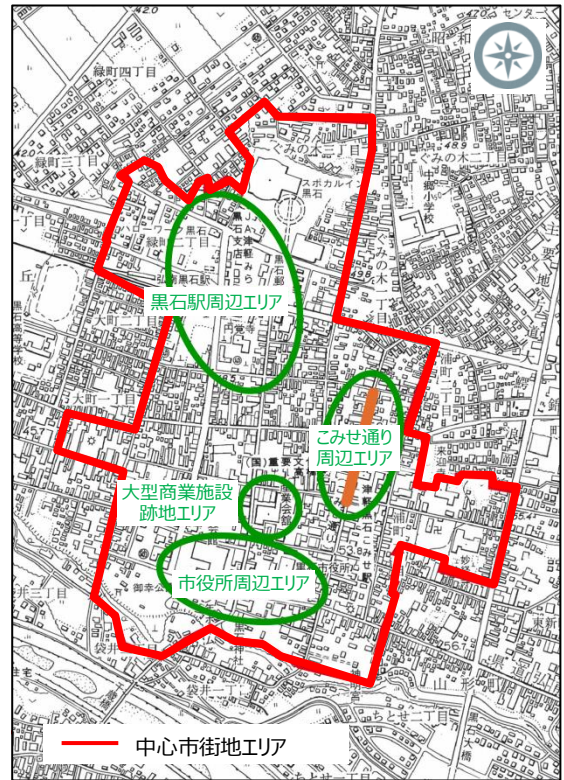
2019（平成 31）年 4 月から 2024（令和 6）年 3 月まで（5 年）

■ 計画区域：76.5 h a

黒石市の中心市街地は、弘南鉄道黒石駅を玄関口として、日本の道百選に選定された「こみせ通り」※1 を中心に、蔵や庭園を備えた「かくじ」※2、国重要文化財高橋家、名勝金平成園（澤成園）等の歴史的遺産が現存しており、これまでの中心市街地の成り立ちや商店街振興組合等の組織状況、都市計画における用途地域を勘案し、黒石駅周辺エリア、大型商業施設跡地エリア、こみせ通りエリア、市役所周辺エリアを区域として設定しました。

※ 1 こみせ

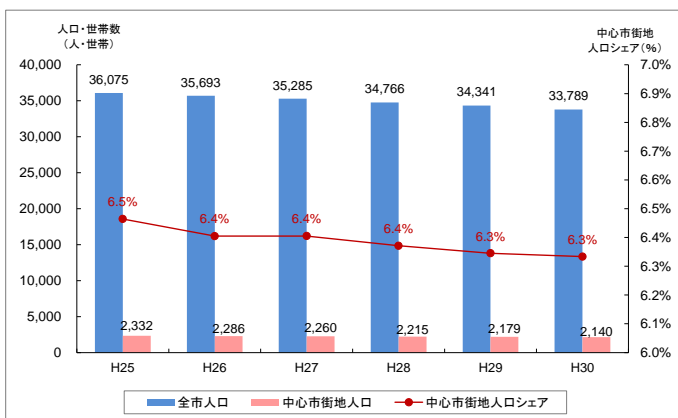
※ 2 かくじ…藩政時代に作られた木製のアーケード
…商家の裏地



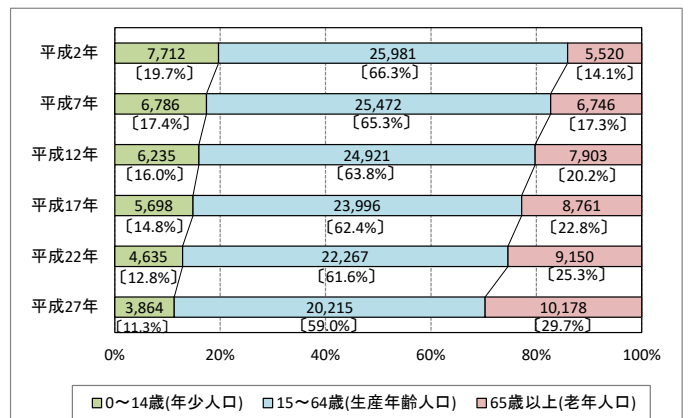
黒石市の現状

■ 人口の現状

黒石市人口・中心市街地人口の推移



年齢区分別人口の推移

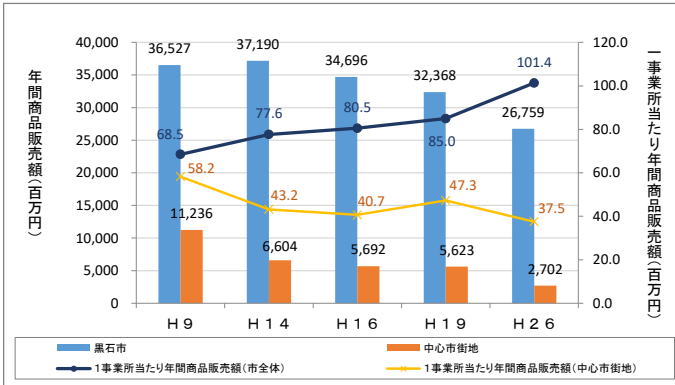


黒石市の人口は、一貫して減少しています。中心市街地においては市全体の減少率を上回る状況が続いており、平成30年の市全体の人口に対する中心市街地人口のシェアは、6.3%となっています。

年齢区分別人口の推移をみると、少子高齢化の傾向が表れており、平成27年の構成比は、0～14歳の年少人口が11.3%、15～64歳の生産年齢人口が59.0%、65歳以上の老年人口が29.7%となっています。

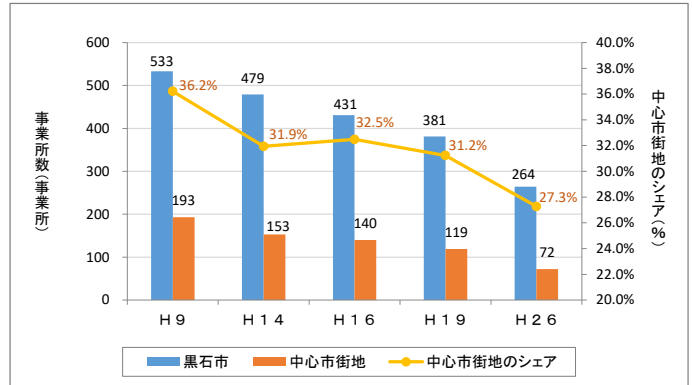
■ 商業・サービス業等の現状

市全体と中心市街地の年間商品販売額の推移



年間商品販売額は、市全体では平成9年の約365億から平成26年には約268億となり、約27%減少しました。中心市街地では、約76%減少しました。

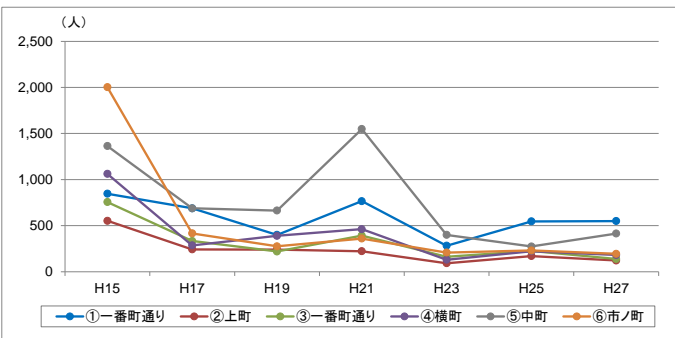
市全体と中心市街地の小売業事業所数の推移



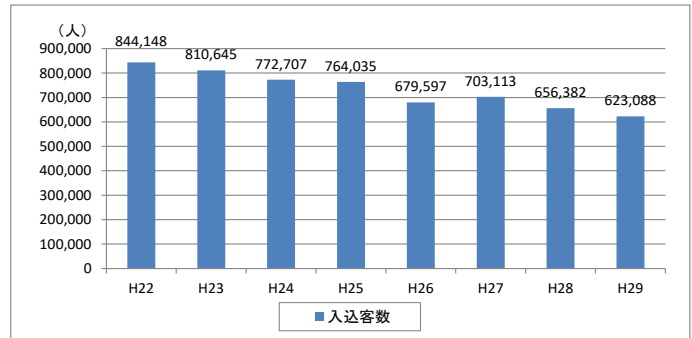
小売業事業所数は、市全体では平成9年から平成26年で約50%、中心市街地では約63%減少しました。黒石市全体でも小売業事業所数は減少傾向ですが、中心市街地内での減少数が大きいため、中心市街地のシェアがさらに低下しました。

■ 都市機能の現状

商店街交通量調査 (歩行者通行量) 平日+休日



観光入込客数



・都市施設

中心市街地には、官公庁として市役所、文化・レクリエーション施設としてスポカルイン黒石といった大型都市施設が整備されており、その他コミュニティ施設として数多くの都市施設も中心市街地周辺に集積しています。

・歩行者通行量

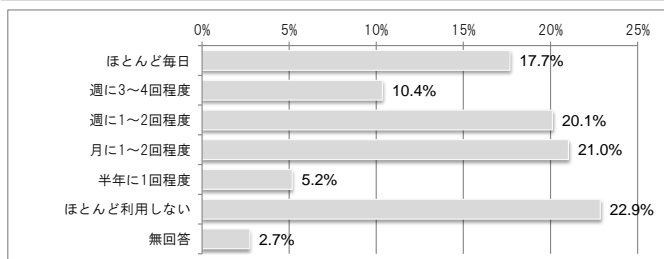
商店街交通量調査によると、平成15年以降、歩行者通行量は減少傾向にあります。

・観光

市内の観光入込客数(延べ人数)は平成22年に84.4万人となって以降、減少傾向となっており、平成27年に増加に転じましたが、翌年の平成28年には65.6万人、平成29年には62.3万人まで落ち込んでいます。

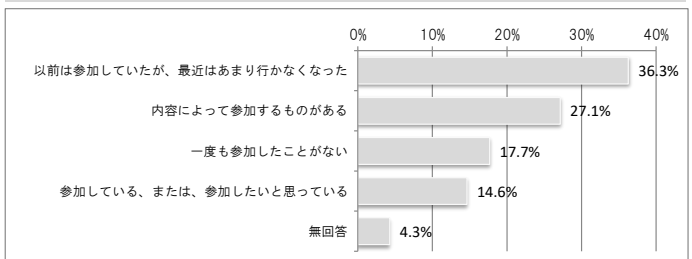
■ 市民意識調査

中心市街地の利用



中心市街地を「ほとんど利用しない」が22.9%と最も多く、次いで「月に1~2回程度」が21.0%、「週に1~2回程度」が20.1%となっています。

中心市街地のイベント等の参加意向



中心市街地のイベント等に「一度も参加したことがない」と、「以前は参加していたが、最近はあまり行かなくなった」を合わせると54.0%となっています。

課題

遊休資産の活用等による 中心市街地の再生

小売業事業所数の減少等による中心市街地の経済活力の低下は、本市の大きな課題となっており、遊休資産の活用などによる新規出店数を増加させることで中心市街地の再生を図る必要があります。

こみせをはじめとした黒石ならではの 観光資源を活かしたまちづくり

古くから商業地として発展した黒石固有の歴史や文化を支えてきた「こみせ」など、市内に残る歴史的資産を観光資源として磨き上げ、インバウンドを含めた観光振興を図ることで、誘客拡大や交流人口を増加させる必要があります。

街なか環境整備と 市民交流の場の創出

市民が気軽に集い、憩う街なかを創出するため、駅から徒歩圏内に商店街、市役所などが立地したコンパクトな街なみを活かし、市民サービス施設や市立図書館等の公益的施設を集約するとともに、各商店をこみせでつなげることで回遊性のある環境を整備し、街なかのにぎわいを創出する必要があります。

基本方針

1. 新たな拠点の創出により 価値を高めるまちづくり

- ・中心市街地に宿泊可能な複合施設を整備するなど、賑わいを呼び込む仕掛け作りを展開します。
- ・シャッター街対策として空き店舗に出店する事業者等への支援を行います。
- ・相談体制の充実やセミナー開催などにより創業・起業希望者への支援を行います。

2. こみせとともに人と人が 共鳴するまちづくり

- ・こみせを起点として、無電柱化の促進、回遊ルートの構築、統一感のある景観整備などにより滞留時間の延伸を図ります。
- ・中心市街地の賑わい創出に資する、市民が主導するイベントへの支援を行います。
- ・市内に残る歴史的資産を観光資源として、市内外に向けた情報発信を行います。

3. 誰もが安心して集い、憩う あずましの空間のあるまちづくり

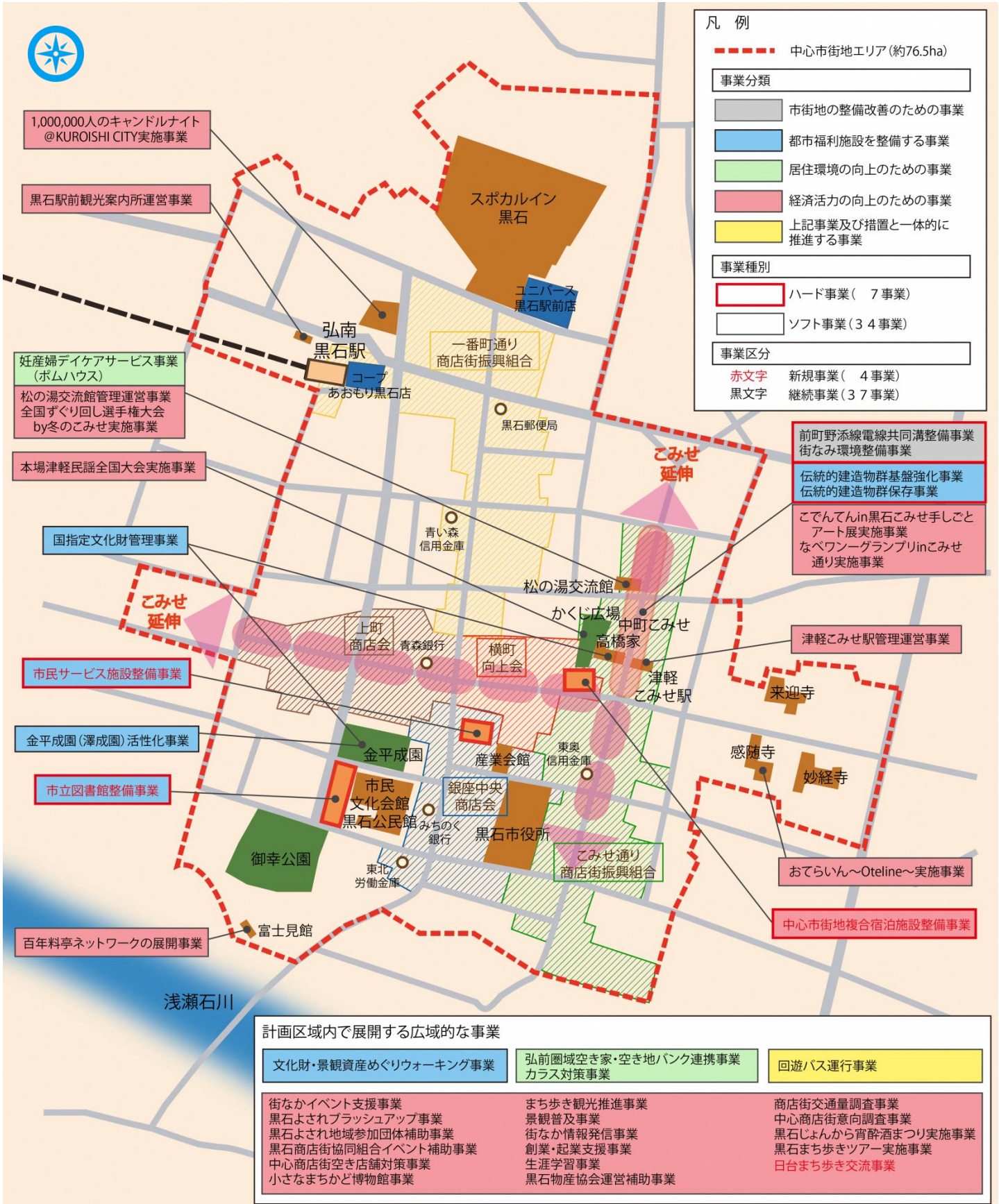
- ・広い世代が集うことができる空間、場所を創出します。
- ・中心市街地にある旧大型商業施設（旧大黒デパート）跡地に、公益機能を有する新たな拠点施設を整備します。
- ・移住促進や居住人口・定住人口の増加に資する居住環境づくりを推進します。
- ・ユニバーサルデザインに配慮するとともに、まちなかで福祉の増進を図ります。

まちづくり コンセプト

誰もが輝き、「真の豊かさ、あずましさ」を実感できる街
— 黒石ならではの魅力を磨くまちづくり —

※あずまし…心地よい

中心市街地活性化事業の実施箇所（全 41 事業）



将来像

- 都市機能が高まり、市民も来訪者も集う、にぎわいのある中心市街地が形成されます。
- 前町、中町及び横町並びに浜町、上町及び元町までこみせでつながり、歩いて回遊できる生活空間が創出されます。

目標および目標指標

基本的な方針に基づく取組みの結果として、その実現を目指す目標を以下のように設定します。

中心市街地活性化の目標① 魅力と活力ある商業環境づくり

数値目標 1：新規出店数

「魅力と活力ある商業環境づくり」については、中心市街地の商業活動の活性化として、新たな消費・サービスの提供や空き店舗・空き地の活用、新たな商業活動の担い手の出現などにより把握することが可能であることから、これらを端的に検証可能な数値目標の指標として、新規出店数を設定します。



主要
事業

・中心市街地複合宿泊施設整備事業
・中心商店街空き店舗対策事業

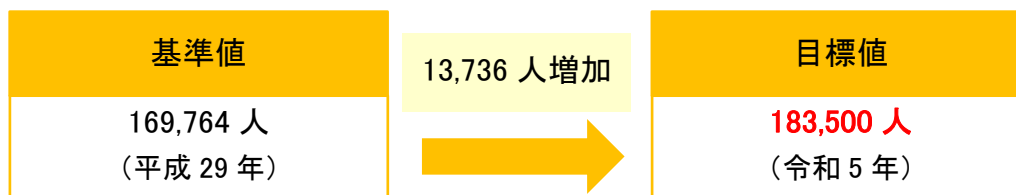
・創業・起業支援事業
・弘前圏域空き家・空き地バンク連携事業 など

中心市街地活性化の目標② 街なかのにぎわい創出

数値目標 2： i) 主要イベント入込数、 ii) 歩行者通行量（平日・休日の計）

「街なかのにぎわい創出」については、街なかの交流人口の増加と滞在・滞留時間の延伸が必要と考え、これらを端的に検証可能な目標指標として、街なかで開催される主要イベントの入込数と歩行者通行量の 2 つを設定します。

i) 主要イベント入込数（黒石よされ、黒石ねぷた祭り、黒石こみせまつり、クラシックカークラブ青森ミーティングinこみせ）



ii) 歩行者通行量（平日・休日の計、中心市街地内商店街の 6 調査地点）



主要
事業

・前町野添線電線共同溝整備事業
・街なみ環境整備事業
・街なかイベント支援事業

・黒石よされブラッシュアップ事業
・街なか情報発信事業
・市立図書館整備事業

・市民サービス施設整備事業
・松の湯交流館管理運営事業
・回遊バス運行事業

など

中心市街地活性化事業一覧（全 41 事業）

分類	目標	No.	活性化事業	実施主体	実施時期	R1	R2	R3	R4	R5
						2019	2020	2021	2022	2023
市街地の整備改善のための事業	■	4-①	前町野添線電線共同溝整備事業	黒石市	H23～R2					
	■	4-②	街なみ環境整備事業	黒石市・民間	H30～R9					
都市福祉施設を整備する事業	■	5-①	伝統的建造物群基盤強化事業	黒石市	H18～					
	■	5-②	市民サービス施設整備事業（新規）	黒石市	R1～R5					
	■	5-③	市立図書館整備事業（新規）	黒石市	R1～R4					
	■	5-④	伝統的建造物群保存事業	黒石市	H18～					
	■	5-⑤	国指定文化財管理事業	黒石市	S60～					
	■	5-⑥	金平成園（澤成園）活性化事業	黒石市	H27～					
	■	5-⑦	文化財・景観資産めぐりウォーキング事業	黒石市	H27～					
居住環境の向上のための事業	■	6-①	妊産婦デイクアサービス事業（ポムハウス）	黒石市	H28～					
	■	6-②	弘前圏域空き家・空き地バンク連携事業	弘前圏域定住自立圏構成市町村（黒石市含む）等	H30～R3					
	■	6-③	カラス対策事業	黒石市	H24～					
経済活力の向上のための事業	■	7-①	中心市街地複合宿泊施設整備事業（新規）	民間事業者	R1					
	■	7-②	街なかイベント支援事業	黒石市	S61～					
	■	7-③	黒石よされブラッシュアップ事業	黒石市	H30～					
	■	7-④	黒石よされ地域参加団体補助事業	黒石市	H12～					
	■	7-⑤	黒石商店街協同組合イベント補助事業	黒石市	S49～					
	■	7-⑥	中心商店街空き店舗対策事業	黒石市	H26～					
	■	7-⑦	松の湯交流館管理運営事業	黒石市	H27～					
	■	7-⑧	小さなまちかど博物館事業	黒石市	H25～					
	■	7-⑨	まち歩き観光推進事業	黒石市	H12～					
	■	7-⑩	景観普及事業	黒石市	H27～					
	■	7-⑪	黒石駅前観光案内所運営事業	黒石市	H27～					
	■	7-⑫	街なか情報発信事業	黒石市	H27～					
	■	7-⑬	創業・起業支援事業	黒石市	H30～					
	■	7-⑭	津軽こみせ駅管理運営事業	黒石市	H23～					
	■	7-⑮	生涯学習事業	黒石市	H19～					
	■	7-⑯	百年料亭ネットワークの展開事業	民間・黒石市	H28～					
	■	7-⑰	黒石物産協会運営補助事業	黒石市	S58～					
	■	7-⑱	商店街交通量調査事業	黒石市	S49～					
	■	7-⑲	中心商店街意向調査事業	黒石市	H29～					
	■	7-⑳	本場津軽民謡全国大会実施事業	本場津軽民謡全国大会実行委員会	H28～					
	■	7-㉑	こでんてんin黒石こみせ手しごとアート展実施事業	こでんてん実行委員会	H29～					
	■	7-㉒	1,000,000人のキャンドルナイト@KUROISHI CITY実施事業	キャンドルナイトKUROISHI実行委員会	H22～					
	■	7-㉓	全国づくり回し選手権大会by冬のかみせ実施事業	黒石こみせまつり実行委員会	S63～					
	■	7-㉔	なべワン－グランプリinこみせ通り実施事業	こみせ通り商店街振興組合	H29～					
	■	7-㉕	黒石じよんから宵酔酒まつり実施事業	黒石じよんから宵酔酒まつり実行委員会	H19～					
	■	7-㉖	おでらいん～Oteline～実施事業	感随寺	H30～					
	■	7-㉗	黒石まち歩きツアー－実施事業	NPO法人横町十文字まちそだて会	H22～					
	■	7-㉘	日台まち歩き交流事業（新規）	NPO法人横町十文字まちそだて会	R1～					
上記の事業及び措置と一体的に推進する事業	■	8-①	回遊バス運行事業	黒石市	H10～					

凡 例	■	目標①	魅力と活力ある商業環境づくり
	■	目標②	街なかのにぎわい創出

計画の推進に向けて

■フォローアップ

中心市街地の活性化にあたり、計画終了年次の令和 5 年度において、それぞれ設定した目標の達成を目指すものであるが、目標値ごとに毎年度統計データ及び実態調査等による検証を行い、必要に応じて目標達成に向けた改善措置を講じます。

目標値の値	フォローアップの時期	数値検証方法
新規出店数（件）	目標年度の令和 5 年度までの毎年度	中心商店街空き店舗対策事業による新規出店及び各商店会組織等への聞き取り
主要イベント入込数（人）	目標年度の令和 5 年度までの毎年度	黒石よされ、黒石ねぶた祭り、黒石こみせまつり、クラシックカークラブ青森ミーティング in こみせの入込数
休日及び平日の歩行者通行量（人/日）	目標年度の令和 5 年度までの毎年度	商店街交通量調査（中心市街地の 6 地点）

■推進体制

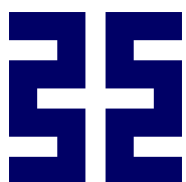
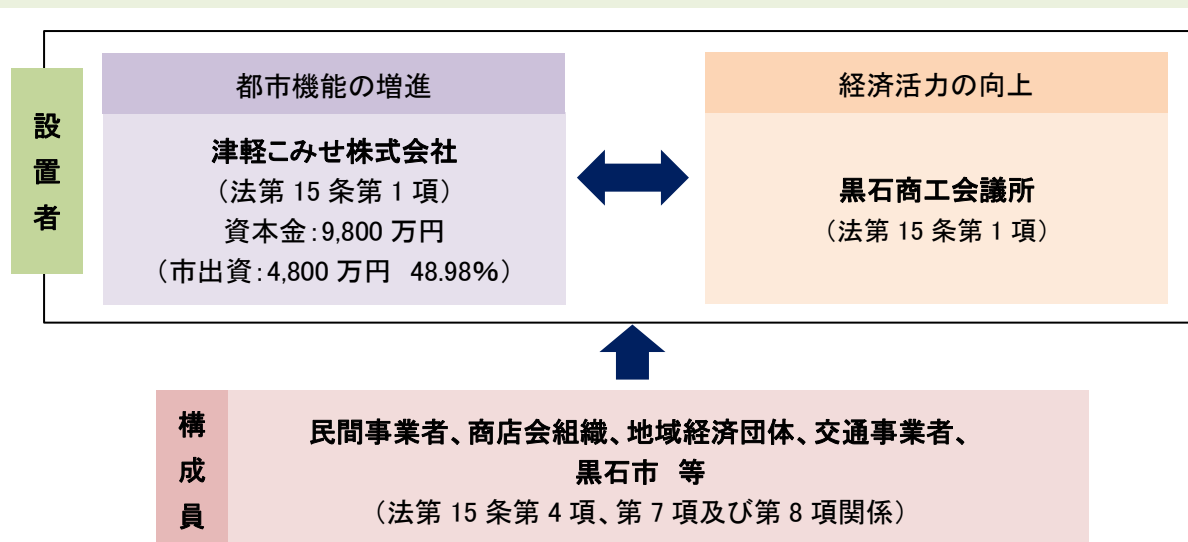
「中心市街地の活性化に関する法律」第 15 条第 1 項の規定に基づき、平成 30 年 10 月 17 日に黒石商工会議所と津軽こみせ株式会社を共同設置者として、「黒石市中心市街地活性化協議会」が設立されました。

本協議会は黒石市が作成する中心市街地活性化基本計画並びに認定基本計画及びその実施に関し必要な事項についての意見提出、黒石市の中心市街地活性化に関する事業の総合調整、関係者相互の意見及び情報交換等を行うなど、中心市街地の活性化を推進するうえで中心的な役割を担います。

多様な関係者が参加する協議・調整のための機関

黒石市中心市街地活性化協議会（平成 30 年 10 月 17 日 設立）

・委員：25 名 ・オブザーバー：5 名 ・アドバイザー：1 名



－発行・お問い合わせ－

黒石市 商工観光部 商工課

〒036-0396 青森県黒石市大字市ノ町 11-1

TEL:0172-52-2111（代表） FAX:0172-52-6191

ホームページ：http://www.city.kuroishi.aomori.jp/